

松尾だより



京都市立松尾小学校
令和7年3月13日
校長 木村 朋弘

令和6年度第2回学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。おかげさまで回答率は76%となりました。アンケート結果をご報告いたします。学校は、アンケートの結果をふまえ教育内容等改善しながら2・3学期の教育活動をすすました。また、学校運営協議会からは、貴重なご意見をいただきました。これからも、学校教育活動をよりよいものに改善しながら進めたいと思います。

◆こころの教育について		児童結果 実現度					
		そう思う	大体そう思う	⇒計	あまりそう思わない	そう思わない	⇒計
学校に行くのは楽しいですか。	令和6年度第2回	55%	31%	86%	10%	4%	14%
	令和6年度第1回	60%	29%	89%	7%	4%	11%
	令和5年度第2回	60%	30%	90%	8%	3%	11%
だれにでもやさしくすることができますか。	令和6年度第2回	36.0%	54.0%	90.0%	7.0%	2.0%	9.0%
	令和6年度第1回	47.0%	44.0%	91.0%	7.0%	2.0%	9.0%
	令和5年度第2回	36.0%	55.0%	91.0%	8.0%	2.0%	10.0%
自分から元気にあいさつをしていますか。	令和6年度第2回	51.0%	33.0%	84.0%	11.0%	5.0%	16.0%
	令和6年度第1回	56.0%	29.0%	85.0%	11.0%	4.0%	15.0%
	令和5年度第2回	44.0%	36.0%	80.0%	14.0%	6.0%	20.0%
人によって、いろいろ思いや考えがあることを、わかろうとしていますか。	令和6年度第2回	57.0%	36.0%	93.0%	7.0%	1.0%	8.0%
	令和6年度第1回	64.0%	27.0%	91.0%	6.0%	2.0%	8.0%
	令和5年度第2回	57.0%	36.0%	93.0%	5.0%	2.0%	7.0%
あなたが思っていることを先生や友だちに話せていますか。	令和6年度第2回	39.0%	38.0%	77.0%	16.0%	7.0%	23.0%
	令和6年度第1回	44.0%	35.0%	79.0%	16.0%	5.0%	21.0%
	令和5年度第2回	40.0%	37.0%	77.0%	18.0%	5.0%	23.0%
◆健康や安全、規範意識について		実現度					
		そう思う	大体そう思う	⇒計	あまりそう思わない	そう思わない	⇒計
学校やクラスの約束を守っていますか。	令和6年度第2回	46%	44%	90%	8%	3%	11%
	令和6年度第1回	56%	36%	92%	6%	2%	8%
	令和5年度第2回	44%	48%	92%	6%	2%	8%
学校の外では、交通ルールをまもり、学校の中のうかやかいだんでは、走らず右側を歩くことができますか。	令和6年度第2回	34.0%	50.0%	84.0%	11.0%	4.0%	15.0%
	令和6年度第1回	46.0%	42.0%	88.0%	9.0%	3.0%	12.0%
	令和5年度第2回	32.0%	47.0%	79.0%	18.0%	3.0%	21.0%
体のことを考えて、外で遊んだり、スポーツをしたり、運動をしていますか。	令和6年度第2回	61.0%	21.0%	82.0%	13.0%	4.0%	17.0%
	令和6年度第1回	66.0%	23.0%	89.0%	8.0%	4.0%	12.0%
	令和5年度第2回	66.0%	21.0%	87.0%	10.0%	3.0%	13.0%
◆子どもの学力を伸ばす取組について		実現度					
		そう思う	大体そう思う	⇒計	あまりそう思わない	そう思わない	⇒計
学校の勉強はわかりますか。	令和6年度第2回	56%	37%	93%	5%	3%	8%
	令和6年度第1回	64%	31%	95%	4%	2%	6%
	令和5年度第2回	60%	32%	92%	5%	3%	8%
学校や家で、勉強や宿題をがんばったり、本を読んだり、していますか。	令和6年度第2回	57.0%	31.0%	88.0%	9.0%	4.0%	13.0%
	令和6年度第1回	72.0%	22.0%	94.0%	4.0%	2.0%	6.0%
	令和5年度第2回	57.0%	30.0%	87.0%	8.0%	5.0%	13.0%
学習では、めあてをもって取り組むことができますか。	令和6年度第2回	47.0%	42.0%	89.0%	9.0%	2.0%	11.0%
	令和6年度第1回	58.0%	33.0%	91.0%	7.0%	1.0%	8.0%
	令和5年度第2回	51.0%	39.0%	90.0%	8.0%	2.0%	10.0%
授業中、すすんで考えたり、グループやみんなに自分のおもいや考えを発表したり、していますか。	令和6年度第2回	45.0%	35.0%	80.0%	15.0%	5.0%	20.0%
	令和6年度第1回	50.0%	33.0%	83.0%	14.0%	3.0%	17.0%
	令和5年度第2回	45.0%	37.0%	82.0%	13.0%	5.0%	18.0%

◆こころの教育について	保護者結果		実現度				
	そう思う	大体そう思う	⇒計	あまりそう思わない	そう思わない	⇒計	
学校は、一人一人を大切にする教育を行ってきてている。	令和6年度第2回	35%	62%	97%	3%	0%	
わが子は、だれとでも仲良く活動することができている。	令和6年度第1回	34%	63%	97%	3%	0%	
わが子は、自ら進んで挨拶しようとする態度が育っている。	令和5年度第2回	34%	62%	96%	4%	4%	
わが子は、様々な立場の人や考え方をもつ人のことを考え、わかろうとしている。	令和6年度第2回	25.0%	66.0%	91.0%	8.0%	0.0%	
学校は、子どもの悩みや相談に適切に対応しようとしている。	令和6年度第1回	28%	64%	92%	8%	1%	
◆健康や安全、規範意識について	実現度						
	そう思う	大体そう思う	⇒計	あまりそう思わない	そう思わない	⇒計	
わが子は、約束やルールを守る規範意識が育っている。	令和6年度第2回	33%	58%	91%	7%	2%	
学校は、地域や保護者と協力して、松尾小学校の子ども達の安全を守っている。	令和6年度第1回	35%	55%	90%	9%	1%	
わが子は、食事や運動、睡眠など、自らの体を大切にしようとする気持ちが育ってきている。	令和5年度第2回	35%	59%	94%	5%	1%	
◆子どもの学力を伸ばす取組について		実現度					
	そう思う	大体そう思う	⇒計	あまりそう思わない	そう思わない	⇒計	
わが子は、基礎的・基本的な学力や技術が身に付いている。	令和6年度第2回	24%	65%	89%	9%	2%	
我が子は、学校や家庭での学習に意欲的である。	令和6年度第1回	25%	65%	90%	8%	2%	
学校は、学習の様子について保護者に伝えたり、学習について相談にのったりしている。	令和5年度第2回	24%	67%	91%	8%	1%	
わが子は、問題に対して粘り強く取り組んだり、周りの人とコミュニケーションを図ったりして、よりよい解決策を見つけようとしている。	令和6年度第2回	18.0%	56.0%	74.0%	21.0%	4.0%	
◆その他		適合度					
	そう思う	大体そう思う	⇒計	あまりそう思わない	そう思わない	⇒計	
我が子は、友達とのかかわりの中で成長することができている。	令和6年度第2回	45%	53%	98%	2%	0%	
学校は、学年・学校便りやホームページ等で、学校の教育方針・学校の様子を伝えることができている。	令和6年度第1回	44%	52%	96%	3%	1%	

こころの教育について

「学校に行くのは楽しいですか」という問い合わせに対し「そう思う・大体そう思う」と応えて児童は86%、10年間で一番低い数値となりました。一方「学校は一人一人を大切にする教育を行っている」という問い合わせに対し、保護者の回答は97%、10年間で一番高い数値となりました。「人によつていろいろな思いや考えがあることをわかろうとしていますか」「様々な立場の人や考え方をもつ人のことを考え、わかろうとしている」の問い合わせでは、前期よりそう思う・大体そう思うと答えた子どもや保護者が増えました。校内では、「学校に行くのは楽しいですか」の問い合わせで過去10年間で一番結果が低かったことを受けて、教職員で話し合いました。教職員の意見は以下の通りでした。

- ・落ち着いた雰囲気づくりを行う→子どもが一つのことをやり遂げる「できた」という実感をもつこと、まわりがほめる・認めることが大切。
- ・自己肯定感をあげられるように、交流の場などで認め合う場を保障する。
- ・子どもたちの話をしっかりと聞く。
- ・寄り添う。受け止める。思い、悩む子どもの気持ちを1日1回聞く。
- ・教職員の積極的な声かけにより、自己有用感が生まれるのではないか。
- ・子どもによって背景はいろいろなので、その子に合った支援ができればよいと思う。
- ・別室の設置、担当の配置により深い児童理解をすすめる。
- ・学校で勉強が楽しい、友だちと遊ぶのが楽しいと思える学級経営を行う。

積極的に認め・ほめることを。対話と共感的理解を。

・昨年度と今年では、また違う取り組みをしていて、学校の頑張りを感じる。1年～3年生まで社協では関わっている。1年生の思いやりがあるシーンをよく見た。今までは1年生だと我先にと出てくる子がいたが、今年は見られなかった。2年生ではお芋ほりをしたが、サツマイモ以外に、芋虫とかミミズとか生き物にも興味をもっていた。

・「畠の学校」では青首大根を4か月かけて、3年生と毎年育てている。今年で19年目。スタッフは10人ぐらいでしている。来年は20年目なのでちょっと変わったことに挑戦しようかと考えている。松尾小学校の児童は、幸せだなと思った。

・3年生の学習発表会に参加させもらった。3年生からお礼のお手紙をいただいた。「もともとさんのおかげで、本が好きになりました。」「自分じゃなくて、他の人に本を読んでもらうのはうれしい」と書いてありとてもうれしかった。

・文化庁のプログラムで、3年前から6年生を対象に茶道の授業を年1回している。日本の文化を教える良い機会だ。松尾小学校の茶道部に入っていた子が、茶道に興味を持って、大人になるまで続けていて、今年は6年生の授業で補助に来てくれた。

・子どもが自分のことをみていてほしい、と願うのは、先生が平等に話してくれないと感じているのではないか。

学校運営協議会より

・「基礎的な学力がついているかどうか」の問い合わせに対する保護者のアンケート結果が低いのは、親が、学習指導要領の変化を分かっていないのではないか。子どもの学習が昔より現在はすすんでいるのを理解できているか、本当に大切な学力とは何かを理解できているか、理解を求めていくことも大切だと思う。



学校運営協議会より

- ・子どもたちが元気になるために、大人も元気であることが大切。
- ・松尾小学校は地域とのつながりが強い学校だと思う。働き方改革の中で、地域とのつきあいかたもいろいろと考えていきたい。

- ・自転車安全教室を行うと、自分のヘルメットを持ってくるのは半数くらいである。もっと着用してほしい。
- ・安全教室や防災訓練については、保護者にも参観してもらい、家庭への教育につなげたらよいのではないだろうか。

健康や安全、規範意識について

「学校やクラスの約束を守っていますか。」「学校の外では、交通ルールをまもり、学校の中のろうかやかいだんでは、走らず右側を歩くことができていますか。」「体のことを考えて、外で遊んだり、スポーツをしたり、運動をしていますか。」の問い合わせに対し、児童の回答はすべて前回より下がっていました。

子どもたちは、総合的な学習の時間や社会科の学習を通して災害について学んでおり、災害に対する意識は高く、安全と命を守る大切さを理解できているようです。日頃の生活を振り返りますと、廊下や銀座通り・渡り廊下等を走ったり、ポケットに手を入れたまま過ごしたり登下校をしていたり、身近な生活の安全については意識できていない子どもも見られます。特に低学年は、校内を走ることが多く心配です。児童のアンケート結果が下がったのは、約束を守れていない、と自覚している児童がいるからだと思います。全児童が安心して過ごすことができるよう、安全指導を続けるとともにこれからも粘り強く働きかけていきたいと思います。

学力を伸ばす取組について

学校運営協議会より

「学校の勉強はわかりますか。」「学校や家で、勉強や宿題をがんばったり、本を読んだりしていますか。」「わが子は、基礎的・基本的な学力や技術が身に付いている。」「わが子は、学校や家庭での学習に意欲的である。」に対する児童や保護者の回答は前回より少し低くなりました。「学校は、学習の様子について保護者に伝えたり、学習について相談にのったりしている。」の問い合わせに対する保護者の回答は少し上がりました。学校と家庭で、子どもたちの学習についてともに話し合い考えて生きていくことが分かります。今年度、松尾小学校は研究発表会を行い、他校からたくさんの教職員に授業を見いただき、研究協議では貴重なご意見をいただきました。授業では、子どもたちがいきいきと学習課題解決に向かって、頑張る姿を見せていました。

学習発表会では、子どもたちが生活科や総合的な学習の時間で調べたことや考えたことを発表したり、様々な場をつくり表現したりしました。保護者の方々や地域の方々に参観していただき、子どもたちはすすんで発表することができました。一方で「授業中、すすんで考えたり、グループやみんなに自分のおもいや考えを発表したりしていますか。」という問い合わせに対し児童の回答が前回より低くなっています。子どもたちは、その時に考えたこと、感じたこと、思ったことを自分の言葉で伝えることを苦手とする様子が見られます。一人一人が安心して自信をもち、のびのびと感じたことや思い・考えを自分の言葉で伝える力につけることができるよう、授業を工夫し展開できるよう研究・研修をすすめるとともに、学習や生活、様々な体験の場を大切にしていきたいと思います。

学校だより

3月特別号②

松尾だより



京都市立松尾小学校
令和7年3月13日
校長 木村 朋弘

令和6年度第2回学校評価アンケートの自由記述欄では「2学期を振り返って、お子さんが成長したと思うところは、どんなところですか。また、学校のことでお気づきのことやご意見等ありましたらお書きください。」という質問をさせていただきました。一部紹介させていただきます。

記述欄より



- ・2学期も色々な本を読み、世界が広がったり、人の気持ちを想像できたりするようになってきたかなと思います。またお話作りが好きで色々なお話を考えて自分で作るようになりました。
- ・これまで興味のなかった社会科が、歴史が始まることにより好きになったようです。英語についてはまだまだ苦手意識が強いので、中学に入るまでに少しでも楽しんで取り組めたらと思います。
- ・総合の時間での学びもとても楽しみにしているようで、話してくれています。
- ・運動が苦手なのですが、体育の幅跳びやポートボール、休み時間にドッジボールで遊んだことなどを楽しそうに話すようになりました。
- ・おともだちの幅が広がり、影響を受けて興味の幅も広がり日々色々なことを吸収してると思います。
- ・お友達が増えた事により、相手の気持ちを考える事が少しずつ出来るようになってきたと思う。
- ・お友達の輪が広がり学校へ行くことが楽しみになった。
- ・様々なタイプの子達との関わりを通して、より柔軟な考えが身についたと思います。
- ・友達との仲を深め、活動に楽しく取り組めたと思います。友達との輪が広がったと思う。行事を楽しんでいるところが印象的だった。
- ・登校時、今まで近所の方にも会釈か小声で挨拶してたのが、今ではしっかりと挨拶できるようになってきました。通学の際、子供達が先生や町の人々に挨拶をあまり積極的にしない様子を見ると少し寂しく感じます。
- ・近所の方へも挨拶が出来るようになってきました。
- ・登校時、挨拶をしてくださる近所の方に対して恥ずかしそうに会釈をしていたのですが、最近は声にして挨拶ができるようになってきました。いつか周りの方々にも目を見て、自ら元気に挨拶ができるように声をかけつつ見守っていきたいと思います。
- ・学校では色々な取り組みをしていただいてありがとうございます。貴重な体験ができていると思います。
- ・担任の先生には、息子の細かい変化に気付いてご連絡いただきました。親には言えないことでも先生には相談できたりしているようです。ふとした表情などを見逃さず、声をかけたり、連絡をしてくださるのは親として、とてもありがたいです。
- ・自分がどうしたいのか、どう思っているのかを、自分で考え言葉に出来るようになってきたと感じています。
- ・学校は、子どもの個性特性に柔軟に対応で子どもを見守り理解する土壌があると思う。先生方みんなん、とても忙しい毎日だと思うが、いつも心地よい挨拶をしてくださる。日々色々あると思うが、子どもたちが安心して過ごせるように地域の方と協力して尽力くださっていると思う。

・高学年としての意識が高まったと思います。それは、普段生活からというより、運動会や異年齢との関わりの時間などから生まれていると思うので、行事や学校内でも関わりが持てる取り組みが大切なのだと改めて認識しました。

・息子からとても嬉しそうに先生の話や学校の話を聞きます。毎日お忙しい中、色々お話ししてくださったり、休み時間にも遊んでくださったりしていること感謝しております。読書週間の先生方の読み聞かせの取り組み、我が家で大人気です！

・交流でたくさんのこと学んで生活にも活かせたりして嬉しい思います。友達とのコミュニケーションが次の課題だと思っているのでまた宜しくお願ひします。

・周りをみて行動する力が前より出来てきているなど嬉しい思います。もう少し交流で一緒に授業を受けられたらと願っています。また宜しくお願ひします。

「わが子は、友達とのかかわりの中で成長することができている。」の問い合わせに対し、「そう思う・大体そう思う」と回答した保護者の割合が98%でした。学校や登下校で友だちや地域の方々、教職員と関わる中での子どもたちが成長を喜ぶ声が多く見られました。

その他に以下のような意見もありました。

- ・自主勉強用のYouTubeは参考になっているので、これからも更新して頂けると助かります。
- ・先生が注意をしても静かにならない、静かに先生の話を聞いて待っている子たちが騒いでいる子たちを待つときにストレスを感じるようです。
- ・まだまだ幼い部分もややこしい部分も混在している子どもたちをよく見ていただいていますが、何かあったときは双方から言い分をきちんと聞いていただきながら、あと数ヶ月よろしくお願ひします。
- ・子供たちの精神面の成長からだと思いますが、子の人間関係が複雑になってきて感じると思います。以前はよく遊んでいた子と今は全く遊ばなくなり、遊んでくれなくなったと言っています。自身の快・不快からなる他人の受け入れ・排除をせずに、多様な人を認め合い繋がる人間関係の構築の教育について、さらなるご尽力を頂ければ幸いです。
- ・個人懇談週間もそうですが、学校内グランドなどの開放時間等をもう少し見直し、子供達が安心して遊べる場所に開放してほしいです。

担任一人で35人ほどの元気いっぱいの子どもたちをまとめるには、子どもたちの協力が必要です。子どもたちの協力には保護者の皆様の御協力が必要です。また、教科ごとに指導者が代わることで、十分な授業準備を行ったうえで授業をすすめることができ、子どもたちにより深い学びを求めることができます。教師一人一人、研修を受けたり、学校全体で研究・研修を重ねたりして、日々指導力向上に努めております。指導者を代えたり、一人一人が研修を積んだりして学習環境を整え、子どもたちが落ち着いて楽しく学習ができるよう努力しました。これからも、指導を工夫し頑張りたいと思います。

教職員の研修や会議の際は、子どものけが等の対応が遅れたり不十分になってしまったりする可能性があります。子どもの安全確保のために、放課後の運動場の開放ができないことがあります。ご理解ご了承いただくとともに、放課後の過ごし方についてお子たちと話し合っていただけるとありがたいです。

